

資料 2

千葉県リハビリテーション支援センター及び 地域リハビリテーション広域支援センターの活動結果について

千葉県リハビリテーション支援センター		P1～3
千葉地域リハビリテーション広域支援センター		P4～9
東葛南部	〃	P10～13
東葛北部	〃	P14～16
印旛	〃	P17～18
香取海匝	〃	P19～21
山武長生夷隅	〃	P22～26
安房	〃	P27～30
君津	〃	P31～32
市原	〃	P33～37

(別記第5号様式)

平成31年度千葉県リハビリテーション支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
病院名	千葉県千葉リハビリテーションセンター
重点活動 項目評価	根拠に基づく地域リハビリテーションを活動テーマに取り組みを実施 ・ 広域支援センターの活動支援 ・ 地域リハパートナー制度の充実に関わること ・ 災害リハに関する地域リハとしての体制の整備

<p>1 広域支援センター支援（機能・役割：実施要綱第2の2ア・イ）</p> <p>ア 担当者会議・研修会等(以下[]は支援センターからの延べ参加数)</p> <p>○地域リハ効果指標検討WG 1回 (R1. 6. 10)</p> <p>○地域リハ担当者意見交換会 4回 (R1. 5. 15[6] R1. 8. 1[4], R1. 10. 28[3], R2. 3. 11[5]予定)</p> <p>○地域リハ担当者連絡会議 2回 (R1. 5. 15[5], R2. 3. 11[5]予定)</p> <p>イ その他の支援</p> <p>○各圏域連絡協議会への参加 6回 千葉 R1. 7. 24[3], R2. 2. 26[1], 山武長生夷隅 R1. 10. 2[1], 東葛北部 R1. 7. 12[2], 東葛南部 R2. 1. 14[2] 印旛 R2. 2. 4[3]</p> <p>○各圏域リハパートナー会議への参加 5回 千葉 R1. 7. 10[1], R1. 10. 9[1], 山武長生夷隅 R1. 10. 2[1], 東葛南部 R2. 1. 14[2], 印旛 R2. 2. 4[3]</p> <p>○広域支援センターの事業協力 4回 千葉 H31. 4. 18[1], 印旛 R1. 5. 8[3], 東葛北部 R1. 5. 10[1], 山武長生夷隅 R1. 10. 2[1]</p> <p>○地域リハ調整者養成研修 1回 (R2. 2. 28) 30名予定 令和元年度は広域支援センター担当者を対象に開催 関連打合せ (R1. 6. 28[2])</p>
<p>2 関係機関従事者の人材育成・情報共有等（同エ・オ・キ）</p> <p>○事業相談 御宿町 R1. 5. 27[1]（小児領域における ST 支援についての相談）</p> <p>○《講師派遣 17回》</p> <ul style="list-style-type: none">千葉県「介護スタッフのための緩和ケアマニュアルについて」(R1. 12. 23[1], R2. 2. 13[1], 2. 18[1])千葉県「身体拘束がもたらす弊害～リハビリテーションの視点から」(R2. 1. 31[1])君津市介護支援専門員協議会「自立支援型地域ケア会議ってナニ？」(R1. 5. 23[1])浦安市「軽度認定者への支援について」(R1. 10. 3[1])香取市佐原地域包括支援センター「介護予防のための地域ケア個別会議の意義と役割」(R2. 1. 23[1])

- 佐倉市社会福祉協議会「医療と連携とリハビリテーション」「快適な居住環境整備とリハビリテーション」(R1. 11. 28[1], R2. 1. 14[1])
 - 白井市 地域ケア会議に関する講師 (R2. 2. 26[1]予定)
 - 印西市「自立支援とは」(R2. 2. 27[2]予定)
 - 海匠健康福祉センター「障害者インクルーシブ防災の実践を目指して」(R1. 11. 26[1])
 - 千葉県福祉ふれあいプラザ「介護する人自身の介護予防」(R1. 11. 15[1])
 - 千葉県建築士会「介護の基礎知識講座」(R1. 10. 17[1])
 - 特定非営利活動法人リンク「専門性を問う～地域共生社会・包括支援体制が求められる今だからあえて考えられるべきこと～」(R1. 6. 29[1])
 - 船橋市立リハビリテーション病院「私たちはナニができるのでしょうか？～『地域』を『リハビリテーション』するために～」(R1. 9. 25[1])
- 令和元年度認知症予防講習会参加(R2. 1. 21[3])
- 《令和元年度介護予防市町村支援事業に係るアドバイザー派遣【高齢者福祉課】 12回》
- 千葉県 R1. 6. 26[1], 7. 3[2], 7. 22[2], 9. 10[2], 12. 3[2], 12. 12[2]
 - 勝浦市 R1. 12. 24[1], R2. 3. 12[1]予定
 - 酒々井町 R2. 1. 16[2]
 - 大多喜町 R2. 2. 20[1]予定
 - 印西市 R1. 11. 28[2], R2. 3. 16[2]予定

3 普及・啓発 (同カ)

- 第13回千葉県地域リハビリテーションフォーラム 千葉市文化センター137名参加 (R1. 12. 21[3])
- 会場打合せ R1. 12. 2[1]
- 小学校出前講座 実籾小学校 R1. 10. 18[1]
- 《講師派遣 1回》
- 佐倉市「みんなが主役の” 通いの場” にするコツ」 R2. 1. 22[1]地域住民対象

4 その他 (同ウ他)

<千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会の活動>

- 第40回九都県市合同防災訓練 避難所運営訓練 R1. 8. 25[4] 防災フェア R1. 9. 1[4] 打合せ H31. 4. 23[2], 全体会議 H31. 4. 25[3], リハーサル R1. 8. 10[1] 事前打合せ R1. 8. 19[2],
- 大規模地震時医療活動訓練見学 R1. 9. 6[2], 9. 7[1]
- 《千葉 JRAT 幹事会 3回》 R1. 6. 4[6], R2. 1. 30[5], R2. 3. 17[5]予定
- 《JRAT 台風15号における安房地域支援活動 R1. 9. 10～9. 24[2]》
- ※9/10-9/15までの派遣費用は千葉リハビリテーションセンターから支出。
16日以降は県との協定に基づき費用弁償あり
- 《千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議 災害対策委員会 会議参加 2回》 H31. 4. 9[1], R2. 1. 8[1]
- 《千葉県理学療法士会災害対策委員会参加》 R1. 11. 12[1]
- 《健康づくり支援課担当者と打合せ》 H31. 4. 24[2]
- 《千葉県保健師現任教育推進のための担当者会議》 R1. 8. 7[2]
- 《第40回九都県市防災訓練事前会議 2回》 R1. 6. 20[3], R1. 7. 29[2]

- REHUG ファシリテーター養成研修 26名参加 R2. 1. 11[3]
- REHUG 研修 34名参加 R2. 1. 12[3]
- 《令和元年度大規模地震時訓練研修会及び令和元年度台風15号等対応報告会参加》
R2. 2. 10[1] 予定
- 《JRAT 関東ブロック会議参加》R2. 2. 22[1] 予定

<千葉県地域リハビリテーション協議会関係>

- 会議参加 R2. 3. 11[5]

<県内外への千葉県の地域リハの取り組みを情報発信 8回>

- 《第54回日本理学療法学会学術研修大会 in 徳島 教育講演(徳島県理学療法士会)》
R1. 5. 25-26[1]
- 《第16回京都市域地域リハビリテーション協力病院会議 講演(京都市域京都府地域
リハビリテーション支援センター)》R1. 6. 18[1]
- 《全国地域リハビリテーション合同研修大会 in ひょうご 2019 シンポジスト(全国地域
リハビリテーション合同研修大会 in ひょうご 2019)》R1. 7. 13-14[1]
- 《第78回日本公衆衛生学会総会 一般演題発表》R1. 10. 23-25[1]
- 《第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会 教育講演(第38回関東甲信越ブロック
理学療法士学会)》R1. 10. 26-27[1]
- 《第58回千葉県公衆衛生学会 一般演題発表》R2. 1. 28[1]
- 《第25回日本災害医学会総会・学術集会 一般演題発表》R2. 2. 20[1] 予定
- 《いばらき社会リハビリテーションフォーラム シンポジウム(茨城県リハビリテーシ
ョン専門職協会)》R2. 3. 22[1] 予定

<全国の地域リハ活動の情報収集>

- 《全国地域リハビリテーション合同研修大会 in ひょうご 参加》R1. 7. 13-14[2]
- 《霞が関南病院(埼玉県地域リハビリテーション・ケアサポートセンター)視察訪問》
R1. 11. 13[5]
- 《リハビリテーション・ケア合同研究大会金沢2019 参加》R1. 11. 21-22[3]
- 府県地域リハビリテーション支援センター担当者意見交換会 R2. 3. 2[3] 予定

※日時・テーマ・参加人数等事業内容を具体的に記載すること。

※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。

※本事業の委託料以外から費用が出ている活動については、事業名と依頼元を《 》

でくくって記載すること。 例.《○○事業(△△市)》

ただし、本事業の委託料と混在している活動を除く。

(別記第5号様式)

平成31年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
圏域	千葉 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	おゆみの中央病院
重点活動	・保健、医療、福祉、介護等の関係機関が地域活動に円滑に連携できるよ うに支援する
項目評価	・千葉市地域リハビリテーション活動支援事業に対するリハ・パートナー 派遣調整及び支援

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業

① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築

ア 連絡協議会

第1回 千葉地域リハビリテーション連絡協議会

日時：令和1年7月24日（水）16時00分～17時45分

会場：中央コミュニティセンター 6階 音楽室2

対象：医療介護福祉関連の職能団体、行政各部署、地域包括支援センターなど 出席者28名

内容：当センターの今年度の取り組みについて

当センターによる健康及び地域リハビリテーションに関わる研修、イベントなどの情報集約サイトの立ち上げについて

退院後に地域の通いの場に繋ぐ支援について

意見交換

第2回 千葉地域リハビリテーション連絡協議会（予定）

日時：令和2年2月26日（水）16時00分～18時00分 ⇒※書面開催にて実施

会場：中央コミュニティセンター 6階 音楽室2

対象：医療介護福祉関連の職能団体、行政各部署、地域包括支援センターなど

出席者26名参加予定

オブザーバー2名（印旛圏域地域リハビリテーション広域支援センター）

内容：当センターの今年度の実績報告

市政出前講座『地域の防災対策について』

千葉市総務局防災対策課 啓発・訓練担当課長 鈴木 卓二 様

台風、豪雨による被害を踏まえ、各団体が課題及び検討している災害対策について意見交換

連絡事項、その他

イ その他の会議

- ・ちば地域リハ・パートナー会議（年度内3回開催）

第1回 ちば地域リハ・パートナー会議

日時：令和1年7月10日（水）19時00分～20時30分

会場：おゆみの中央病院 会議室

対象：ちば地域リハ・パートナー 19施設 28名

内容：当センターの今年度の取り組みについて

千葉県地域リハビリテーション活動支援事業について（地域包括ケア推進課）

今年度の活動報告2施設（NPO 一步一步、緑が丘訪問看護ステーション）

意見交換

第2回 ちば地域リハ・パートナー会議

日時：令和1年10月9日（水）18時30分～19時30分

会場：中央コミュニティセンター 6階 音楽室②

対象：ちば地域リハ・パートナー 23施設 34名

内容：ちばしパラスポーツコンシェルジュ 事業説明

当センターの今年度の取り組み進捗報告

新規の通いの場立ち上げ支援について—地域包括ケア・介護予防推進リーダーワー

キンググループより進捗報告

千葉県地域リハビリテーション活動支援事業活動報告及びあんしんケアセンター

との意見交換

第3回 ちば地域リハ・パートナー会議（予定）

日時：令和2年3月25日（水）18時30分～20時00分

会場：中央コミュニティセンター

対象：ちば地域リハ・パートナー ○○施設 ○○名

内容（予定）：当センターの今年度の実績報告及び次年度の取り組みについて

今年度の千葉県地域リハビリテーション活動支援事業について課題など意見交換

次年度の千葉県地域リハビリテーション活動支援事業について（千葉市）

次年度、地域リハビリテーションに関わる課題、リハ・パートナーで取り組めそ

なことについてグループワーク、総括

- ・（仮）千葉市 POS 連絡協議会の立ち上げ

Kick Off Meeting

日時：令和1年12月10日（火）19:00～21:00

対象：理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会ブロック担当者及び関係者 9名

内容：会の立ち上げ目的、設立形態の意見をすり合わせ、今後の取り組みなど意見交換

スタートアップ懇親会

日時：令和2年2月10日（月）19:00～21:00

対象：市内各医療機関、介護事業所など 19施設 セラピスト48名

内容：会の立ち上げ目的について（まずはインフォーマルな形で縦・横の連携を構築する）

参加施設紹介及び自己紹介

リハビリテーション機能に特化した事前情報を元に歓談セラピストが連携していくためにできることなど意見交換

② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

- ・千葉県地域リハビリテーション活動支援事業への専門職派遣調整
25件（内、7件は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止）
- ・地域ケア会議及び多職種連携会議におけるリハビリ専門職派遣調整
下記日程で千葉県理学療法士会千葉ブロックの広報ツール LINE@、メール等で広報
令和1年 6月26日 花見川区、緑区多職種連携会議
8月29日 美浜区多職種連携会議
9月19日 若葉区多職種連携会議
10月 2日 中央区松ヶ丘圏域多職種連携会議
12月23日 中央区（2箇所）、若葉区多職種連携会議
令和2年 1月20日 花見川区多職種連携会議
- ・<<U23 女子日本代表車いすバスケ合宿における栄養指導（日本車いすバスケットボール連盟 ※千葉県は仲介のみ）>>
令和1年8月13日 千葉市のポートアリーナで合宿中の選手に対し、当センターの管理栄養士（公認スポーツ栄養士の有資格者）が集団講習及び個別指導を実施
- ・外国人介護職員と外国人留学生の交流会において腰痛予防について講義
日時：令和2年2月15日（土）15:30～16:00までの30分間
対象：千葉県内に勤務する外国人介護職員と外国人留学生
内容：腰痛予防講義
講師：千葉地域リハビリテーション広域支援センター 理学療法士 酒井 隆康
主催：千葉県社会福祉協議会 千葉県外国人介護人材支援センター

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

個別の相談支援実績1件 現在の入院先から退院後の、リハビリテーション継続に関するご相談。

④ 研修等の実施を通じた協働促進

以下の千葉県理学療法士会千葉ブロック主催研修について、広報など後援。また、実際に地域の通いの場を支援する事例は、リハ・パートナーの方々による介入が多いと想定され、多くの参加が期待されるちば地域リハ・パートナー会議終了後の時間を利用して、研修を開催するかたちとした。

テーマ：地域の通いの場における専門職の役割について Part2

日時：令和元年10月9日（水）19:30～21:00

対象：地域の介護予防に興味のある千葉市内在勤のセラピスト等 26名

内容：

- 通いの場に参加する意義及びセラピストとして支援する際に必要な能力
(リハ・パートナーの皆様のアンケート調査及び昨年度の主催研修 GW 内容から)

おゆみの中央病院 川村 悠

- 上記内容、もしくは参加者の皆様のこれまでの経験を元に
「通いの場を支援する際の自分の課題または困ったこと」についてグループワーク

- シンポジストを交えて意見交換

菅野 氏 (NPO 法人一歩一歩)、佐藤 氏 (なごみの陽訪問看護ステーション)

安彦 氏 (シニアリーダー事務局) 座長：川村 悠 (おゆみの中央病院)

- 総括 訪問看護ステーションあすか 榎尾 英之

- ・千葉市回りハ有志の会 年度内 2 回開催予定

第 1 回

日時：令和 1 年 8 月 30 日 (金) 19:00～21:00

対象：主に千葉市内回復期リハビリテーション病棟従事者、行政関係者など 25 名

内容：テーマ「病院・病棟の紹介と取り組み内容・課題共有」

千葉地域リハビリテーション広域支援センターについて

おゆみの中央病院 リハビリテーション部 川村 悠

各施設の取り組み発表 おゆみの中央病院、千葉中央メディカルセンター

千葉みなとりハビリテーション病院、みつわ台総合病院

富家千葉病院 以上、5 施設

質疑応答

第 2 回

日時：令和 2 年 1 月 31 日 (金) 19:00～21:00

対象：主に千葉市内回復期リハビリテーション病棟従事者、行政関係者など 43 名

内容：テーマ「回復期退院後、“地域に繋ぐ”を支援する」

- 生活機能に応じた社会参加を考えよう 『在宅復帰＝社会復帰』となる支援について

千葉地域リハビリテーション広域支援センター 理学療法士 川村 悠

- 地域の通いの場の実態、インフォーマルサービスについて

緑区生活支援コーディネーター 福邊 和樹

- 退院後、地域の通いの場に繋ぐ実際の支援方法について

千葉地域リハビリテーション広域支援センター 理学療法士 小原 来夢

- 回復期リハビリ従事者が知ってほしい高次脳機能障害者の地域支援について

千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害センター

主席理学療法士 揚戸 薫

主任ソーシャルワーカー 田中 葉子

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧いずれかを記入

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑥) 内容：地域住民を対象にしたロコモ度テスト及びフィードバック

開催日：令和1年 ①7月20日 ②9月21日 ③11月12日の3日間

対 象：千葉市緑区誉田2丁目第1自治会の役員及び住民 ①12名 ②8名 ③28名

内 容：ロコモ度テスト及びフィードバック、必要な運動に対する助言など

対応者：当センター理学療法士各回2名

依頼元：千葉市あんしんケアセンター誉田

(⑥) 内容：地域夏祭り（令和1年8月3日）の救護班運営

開催日：令和1年8月3日(土)16:00～21:00

対 象：千葉市立泉谷小学校区の児童、生徒、保護者、住民など

内 容：お祭りの実行委員向けに熱中症予防資料作成、配布

急病者の救急対応（擦過傷対応2名、熱中症対応4名；いずれも軽症）

対応者：当センター看護師、理学療法士 各1名

依頼元：おゆみ野地区地域運営委員会

(⑥) 内容：<<シニアリーダー養成講座事業（千葉市）>>とのタイアップ「再掲」

上記【④研修等の実施を通じた協働促進】の研修を通して、地域の介護予防について理解を深めていただき、将来的にはリハ・パートナーの方々と協働し、各区の連絡会及び活動を支援可能な体制を整えていきたい。この体制は1年、2年で構築できるものではないため、実際に地域で活動するケースが多いと想定されるリハ・パートナーの方々を主な対象にした研修開催を継続していく。

(⑧) 内容：障害者スポーツの普及（一部、千葉市緑区地域活性化支援事業の補助金を得て活動）

市内の高齢者施設、サロン等において、出張ボッチャ体験会を27件（16件が広域支援センターとして対応）開催した。当初、障害をお持ちの皆様にはボッチャを普及するためには、セラピストへの周知が必要と考え、こちらから多くのセラピストが在籍する施設に出張することによる体験会を予定していた。しかし残念ながら2月1日現在、そのような施設からは1件も依頼を

いただけていない状況。一方で、1件ではあるが児童発達支援事業所から依頼をいただいた。幼児期に楽しみながらボッチャに触れることは、生涯スポーツに繋がる可能性があるため、次年度は、障害をお持ちの幼児・児童を対象にした体験会の開催にも尽力していきたい。

(⑧) 内容：小学校出前講座

開催日：令和1年 ①9月12日 ②10月7日 ③10月31日 ④12月5日 ⑤12月10日

対象：①は小学5年生、その他は小学4年生

①58名 ②30名 ③101名 ④130名 ⑤111名

内容：視野障がいの疑似体験、車椅子操作体験、身体障害者（膝固定）の疑似体験

対応者：当センター理学療法士 各回6名

依頼元：①生浜東小学校 ②稲浜小学校 ③小谷小学校 ④若松小学校 ⑤緑町小学校

(⑧) 内容：JRAT 派遣（安房）

派遣日程：9月20日～21日の2日間

内容：安房地域の避難所等支援（避難者の体調確認、お困りごと聴取等）

対応者：千葉地域リハビリテーション広域支援センター 理学療法士 川村 悠、小原来夢

依頼元：JRAT

※日時・テーマ・参加人数等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。

※本事業の委託料以外から費用が出ている活動については、事業名と依頼元を《 》

でくくって記載すること。 例.《○○事業（△△市）》

ただし、本事業の委託料と混在している活動を除く。

(別記第5号様式)

平成31年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
圏域	東葛南部 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	新八千代病院
重点活動 項目評価	<p>(重点活動) 地域リハビリテーション関連団体等に対して事業協力を行うと共に、地域リハビリの質の向上及び情報交換・ネットワークづくりを目的に各団体の取組事例を紹介する研修会・意見交換会を開催する。</p> <p>⇒各市の地域リハビリ関連団体(市川市、習志野市、船橋市、浦安市)と連携し、情報交換・協力支援を行った。また、新たに地域リハビリ関連団体の発足支援(八千代市)を行った。研修会「地域支援事業における地域リハビリテーションの役割」を開催し、行政担当課や地域リハビリ関連団体の取組事例の紹介、意見交換を行った。市単位の事業を中心に各市のネットワークが構築される中、二次医療圏域の地域リハビリネットワークを構築することで市を越えた連携体制を推進することができた。</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築
ア 連絡協議会 東葛南部圏域地域リハビリテーション連絡協議会 (R2.1.14) 参加者：24名 内容：令和元年度事業報告、令和2年度事業計画、その他意見交換 参集範囲：医療・介護関係者、行政担当課、職能団体等
イ その他の会議
1) 東葛南部圏域ちば地域リハ・パートナー会議 (R2.1.14) 参加者：17名 内容：令和元年度実績報告、意見交換
2) 第2回千葉県地域リハビリテーション協議会(千葉県主催)(R2.3.11)の参加
3) 千葉県地域リハビリテーション広域支援センター担当者連絡会議(県支援センター主催)(R1.5.15、R2.3.11)の参加
4) 千葉県地域リハビリテーション担当者意見交換会(県支援センター主催)(R1.5.15、8.1、10.28)の参加
5) 効果指標ワーキンググループ(県支援センター主催)(R1.6.10)の参加
② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力
1) 研修会「地域支援事業における地域リハビリテーションの役割」の開催 (R1.11.7) 参加者：医療・介護職・行政担当課 152名 内容：船橋市、習志野市、市川市、浦安市の行政担当課及び地域リハビリ関連団体

の取組事例の紹介、シンポジウム

- 2) 《八千代市介護予防普及啓発事業（八千代市）》の協力
講師およびパートナーの招聘、市内のリハビリ専門職への啓発
- ・「ロコモティブシンドローム」(R1. 10. 16) 参加者 地域住民 29 名
 - ・「認知症予防」(R1. 10. 23) 参加者 地域住民 30 名
 - ・「サルコペニア」(R1. 10. 30) 参加者 地域住民 30 名
 - ・「認知症予防」(R2. 3. 1) (予定)
- 《八千代市家族向け介護指導事業（八千代市）》への協力 (R1. 11. 28)
講師およびパートナー、市内のリハビリ専門職の招聘
参加者：地域住民 28 名
- 《八千代市地域ケア会議（八千代市）》の参加 (R2. 3. 16 予定)
参加および市内リハビリ職への情報提供
- 3) 地域リハビリテーション関連団体への協力
- ・市川市リハビリテーション協議会との連携 (R1. 11. 7、R2. 1. 14)
 - ・習志野市リハビリテーション協議会の参加・連携
(R1. 7. 18、11. 7、R2. 1. 14、1. 30)
 - ・船橋市地域リハビリテーション拠点事業 (R2. 1. 14、3. 7)
 - ・浦安市地域リハビリテーション連絡会との連携 (R1. 11. 7)
 - ・八千代市リハビリテーション協議会の発足支援
(R1. 9. 5、11. 28、R2. 2. 26、3. 25 予定)

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- 1) 《習志野保健福祉センター難病相談事業(習志野保健福祉センター)》の協力 (R1. 10. 9)
参加者：パーキンソン病当事者および家族 11 名
内容：摂食嚥下障害のミニ講座の講師および相談支援
- 2) 八千代市在宅摂食嚥下リハビリテーション研究会の協力 (R1. 4. 22、5. 20、6. 21、7. 19、9. 4、10. 2、11. 11、12. 16、R2. 1. 21、2. 18、3. 23 予定 計 11 回)
参加者：歯科医師、訪問看護師、ケアマネジャー等
内容：症例検討会のアドバイザー
- 3) 介護施設への支援
- ・摂食嚥下障害研修会の開催 (R1. 11. 19)
内容：摂食嚥下障害の評価と対応
参加者：特別養護老人ホーム 6 施設 45 名
 - ・施設訪問による相談支援 (R1. 11. 27、R2. 1. 21)
内容：食事場面での摂食嚥下障害の評価・介助方法の指導
施設：2 施設
- 4) 《千葉県身体障害者福祉協会主催の研修会》での講師派遣 (R1. 6. 28)
内容：生活を豊かにする福祉用具・道具と活用について
参加者：身体障害者当事者および支援者

- 5) 摂食嚥下障害専門家の不在施設への支援
 精神科病院への実地訪問による相談支援 (R1. 8. 21、9. 13、10. 2、11. 8、12. 4、
 R2. 1. 17 計6回)
 内容：嚥下機能評価と食事環境の提案、介助指導

④ 研修等の実施を通じた協働促進

- 1) 研修会「地域支援事業における地域リハビリテーションの役割」開催 (R1. 11. 7)
 「再掲」
- 2) 研修会「脳卒中のリハビリテーションと地域連携」(R2. 3. 25 予定)
 講師：松元 秀次 氏 (日本医科大学リハビリテーション科)
 参加：医療・介護職
 協力：八千代市リハビリテーション協議会
- 3) 八千代市医師会脳卒中地域連携講演会 (R1. 6. 24)
 講師：小林 士郎 氏 (成田リハビリテーション病院)
 参加：医療・介護職
 内容：講演会、模擬カンファレンス
- 4) 地域リハビリテーション出前講座の実施
- ・鎌ヶ谷市立南部小学校 (R1. 6. 18)
 参加：小学校6年生 43名
 内容：車椅子体験とバリアフリーについて
 - ・八千代市立村上小学校 (R1. 6. 26)
 参加：小学校5年生 107名
 内容：車椅子体験とバリアフリーについて
 - ・習志野市立実籾小学校 (R1. 10. 18、12. 17、R2. 1. 15)
 参加：小学校5年生 68名
 内容：小学生が守る地域の健康
- 5) 第13回地域リハビリテーションフォーラム (県支援センター主催) (R1. 12. 21) の参加
 内容：ポスター発表、運営協力
- 6) ≪千葉県言語聴覚士会主催研修会≫での人材派遣 (R1. 8. 31)
 内容：広域支援センターの取組紹介

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧い
 ずれかを
 記入
- ↓
- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容：

- ・研修会『地域支援事業における地域リハビリテーションの役割』(R1. 11. 7) の開催を

通して先駆的取組の紹介「再掲」

- ・八千代リハビリテーション協議会発足支援（R1.9.5、11.28、R2.2.26）「再掲」
協議会発足に向けて地域リハビリネットワークの活用および関連機関への連絡調整
- ・八千代市在宅摂食嚥下リハビリテーション研究会の協力「再掲」
在宅摂食嚥下診療体制の構築および在宅医療・介護職への啓発
- ・障がい者スポーツを通じた専門職のネットワークづくり《千葉県理学療法士会主催》
会場提供等（R2.1.19）

（ ⑧ ） 内容：

- ・九都県市合同防災訓練（船橋市）避難所訓練の参加（R1.8.25）
- ・九都県市合同防災訓練（船橋市）防災フェアの参加（R1.9.1）
- ・台風15号（9月9日）の被災地支援（R1.9.23-24）
内容：安房本部ロジスティクス
- ・REHUG ファシリテーター研修会（R2.1.11）、REHUG 研修会（R2.1.12）の参加
- ・習志野市立実籾小学校での地域リハビリテーション出前講座
内容：避難所を想定した小学生ができる健康づくり

※日時・テーマ・参加人数等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。

※本事業の委託料以外から費用が出ている活動については、事業名と依頼元を《 》

でくくって記載すること。 例.《〇〇事業（△△市）》

ただし、本事業の委託料と混在している活動を除く。

(別記第5号様式)

平成31年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
圏域	東葛北部 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	旭神経内科リハビリテーション病院
重点活動 項目評価	・住民の健康増進・介護予防等の取組支援を行うべく、地域リハビリボランティアの育成と活用を行っていく ・地域リハ・パートナーとの共働を実践する ⇒生活リハビリ普及員のフォローアップ研修を継続実施。新規事業として高次脳機能障害支援ボランティア養成研修も実施 健康度測定協力を中心に地域リハ・パートナーとの協業を実施。

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 第1回東葛北部地域リハビリテーション連絡協議会 日時：R1.7.12(金) 14:00-16:30 対象：各市担当者、地域包括支援センター、リハ・パートナー 内容：介護予防・認知症予防事業におけるリハビリ職の役割について(認知症疾患医療センターと共催) 参加45名 イ その他の会議 第1回東葛北部地域リハ・パートナー会議 日時：R2.2.19(水) 18:00-19:00 (予定) 内容：東葛北部地域リハビリテーション広域支援センターの今年度の取り組みについて、来年度のリハ・パートナー施設との地域リハビリ支援協業について、その他情報提供
② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力 ・各市役所・地域包括支援センターと地域リハ・パートナー協業のコーディネート(東葛北部圏域の各市役所・地域包括支援センターと地域リハ・パートナーの意見交換会を実施し、介護予防の体操教室などへのアドバイス、体操教室へのスタッフ派遣などの協業体制のコーディネートを行う。) R1.5.15 R2.2.19(予定) 松戸市常盤平団地地域包括支援センター健康度測定 R1.7.17、10.1、R2.1.14

松戸市認知症初期集中支援チーム、地域ケア会議派遣に資する研修（松戸市公認）
R1. 10. 3 松戸市元気応援くらぶ支援会議

- ③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援
- ・研修会を利用したリハビリに関する相談支援
（研修会事前アンケートにて相談内容を把握、研修会での質疑応答対応及び相談内容へのフォローアップ）
 - ・情報共有システムの共有（リハ・パートナー向け研修会などの情報発信）
地域リハ調整者養成研修など研修情報のメール配信
 - ・地域ボランティアからのリハビリ相談窓口の新規開設打ち合わせ
- R2. 2. 10（月）：生活リハ普及員と五香病院（リハ・パートナー施設）訪問（予定）

- ④ 研修等の実施を通じた協働促進
- ・地域の医療機関や関係機関の職員等を対象として、リハビリに関する知識及び技術向上と施設内での共有を行うリーダーの育成、関連機関の連携の充実等を目的とした研修会、講習会を開催する。

【生活リハビリ普及員】

昨年度までに養成研修を終えた地域リハビリボランティア（生活リハビリ普及員）に対して、フォローアップ研修を行い、継続して地域リハビリボランティアとして活動できるよう育成を行っていく。

R1. 10. 24（木）：ボランティアの実践 参加27名

R1. 12. 5（木）：健康度測定 参加17名

R2. 1. 15（水）：健康体操 参加9名

R2. 3. 5（木）：研修のまとめ（予定）

【高次脳機能障害を有する方への支援】

高次脳機能障害支援拠点機関(当院)及びリハ・パートナー施設と連携し高次脳機能障害を有する方への支援を行う人材（ボランティア）育成を行う。

※6～3月（月1回）講義と実技指導でボランティアを要請する。

R1. 6. 13(参加者：5名)、R1. 7. 11(参加者：5名)、R1. 8. 8(参加者：5名)、

R1. 9. 12(参加者：5名)、R1. 10. 10(参加者：5名)、R1. 11. 14(参加者：5名)、

R1. 12. 12(参加者：5名)、R2. 1. 9(参加者：5名)、R2. 2. 13、R2. 3. 12 開催予定

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧いずれかを記入 ↓
- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

（ ⑤ ） 内容：

- ・(再掲)
「生活リハビリ普及員」「高次脳機能障害を有する方への支援（ボランティア）」研修会

(⑥) 内容 :

内容 : (再掲) 各市役所・地域包括支援センターとリハ・パートナー協業のコーディネート

- ・松戸市通所型元気応援くらの希望グループへの健康度測定および健康相談
(リハ・パートナーとの協業)

R1. 5. 29 いてみよう・やってみよう会健康度測定
R1. 5. 31 小金原 6-7 元気くらぶ認知症講演会
R1. 6. 7 小金原 6-7 元気くらぶ健康度測定
R1. 7. 19 げんきかい?健康度測定
R1. 7. 26 小金原 6-7 元気くらぶ認知症チェック
R1. 7. 31 いてみよう・やってみよう会健康講座
R1. 9. 27 小金原 6-7 元気くらぶ健康講座
R1. 10. 30 いてみよう・やってみよう会健康度測定

- ・介護予防・認知症予防教室立ち上げ支援 (松戸市栗ヶ沢自治会)

R1. 8. 4 認知症予防講演会
R1. 8. 9、9. 18 介護予防教室立ち上げ打ち合わせ
R1. 10. 1 介護予防教室 参加者 30 名
R1. 11. 5 健康度測定 参加者 19 名
R1. 12. 3 認知症チェック 参加者 19 名
R2. 1. 7 介護予防教室 参加者 20 名
R2. 2. 4、3. 3 (予定) 介護予防教室

- ・介護予防・認知症予防教室支援 (松戸市小松園自治会)

R1. 6. 14 健康度測定 参加者 22 名
R1. 6. 21 健康講座 参加者 20 名
R1. 10. 4 健康講座 参加者 25 名

※日時・テーマ・参加人数等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。

※本事業の委託料以外から費用が出ている活動については、事業名と依頼元を《 》

でくくって記載すること。 例. 《○○事業 (△△市) 》

ただし、本事業の委託料と混在している活動を除く。

(別記第5号様式)

平成31年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
圏域	印旛 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	成田リハビリテーション病院
重点活動 項目評価	<p>1. ちば地域リハ・パートナー向け研修会開催を通じた募集 ⇒専門の研修会は未開催であったが、県通知・他研修会や訪問を通じ、未加入機関にリハ・パートナー制度を説明し参加を募った。前年度19機関が27機関に増加した。9機関加入（大学病院2、一般病院3、診療所2、介護施設2）、1機関脱退（診療所1） 今後の具体的活動を通じ、リハ・パートナー活動の更なる充実を図りたい。</p> <p>2. 各市村での(仮称)療法士連絡会の設立 ⇒医療・介護機関や市村役所に在する療法士のピックアップを行い、設立趣旨の説明を開始した。今後、一層の啓蒙活動を行い、実現を図りたい。</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会（年1回開催） 日時：令和2年2月4日(火) . 内容：平成31年度推進事業について報告（小林院長） 令和2年度事業計画策定について 千葉県地域リハビリテーション広域支援センターの役割について 意見交換 参加：40名</p> <p>イ その他の会議</p> <ul style="list-style-type: none">・印旛地区リハ・パートナー会議 日時：令和2年2月4日(火) 内容：新規パートナー施設紹介 リハ・パートナーの役割について(説明:千葉県健康福祉部健康づくり支援課) 地域活動への取組み紹介（千葉リハビリテーションセンター） 意見交換 参加：23名
<p>② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <ul style="list-style-type: none">・域内9市村の関連部署を訪問し広域支援センター事業案内・成田市包括支援センター連絡協議会に参加（2回） （1回目）日時：令和2年1月24日（金）

内容：広域支援センター・リハパートナー活動内容の案内、地域のニーズの収集
 (2回目) 日時：令和2年2月28日(金)
 内容：災害時のリハビリテーション必要な方への対応
 ・芝山町連携会議研修会に参加(2名(PT・OT))
 日時：令和2年2月13日(木)
 内容：広域支援センター活動内容の案内、地域のニーズ収集

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援
 ・相談窓口の設置(電話・メール)

④ 研修等の実施を通じた協働促進

・日時：令和元年11月12日(火)
 内容：「千葉県地域リハビリテーション広域支援センターの役割について」
 講師 吉永勝訓氏(千葉リハビリテーションセンター センター長)
 地域活動への取り組みについて
 参加：125名(対象：医療・介護職)

・印旛圏域地域リハビリテーション研修会
 日時：令和2年1月8日(水)
 内容：「簡単な神経学的所見のとり方」
 講師 小林士郎(成田リハビリテーション病院院長)
 参加：80名(対象：医療・介護職)

・印旛圏域地域リハビリテーション研修会
 日時：令和2年3月11日(水)
 内容：「セラピストのための認知症入門」
 講師 吉川百合子氏(成田赤十字病院神経内科部長)
 参加：80名予定(対象：医療・介護職)

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧い
 ずれかを
 記入
 ↓
 ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑧) 内容：《大学講座への講師派遣(国際医療福祉大学)》(地域内機関へのリハ知識
 技能提供)

日時：令和元年11月27日(水)
 内容：電気刺激の基礎と臨床での使い方

() 内容：

※日時・テーマ・参加人数等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。

※本事業の委託料以外から費用が出ている活動については、事業名と依頼元を《 》
 でくくって記載すること。 例.《〇〇事業(△△市)》

ただし、本事業の委託料と混在している活動を除く。

(別記第5号様式)

平成31年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
圏域	香取海匝 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	総合病院国保旭中央病院
重点活動 項目評価	①生活期リハ支援班の立ち上げ・運営 ②パートナー施設との連携強化 ③リハビリテーション専門職による訪問相談事業

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 ・3月5日(予定)⇒※書面開催にて実施 参集範囲：圏域内地域包括支援センター、健康福祉センター、地域リハ・パートナー 他 イ その他の会議 ・香取海匝圏域 地域リハ・パートナー会議 第1回：7月9日、第2回：3月5日(予定) ・生活期リハ支援班会議 第1回：9月7日、第2回：2月15日(予定) ・地域ネットワーク支援班会議 第1回：4月10日、第2回：6月26日、第3回：9月18日、第4回：12月11日、 第5回：2月5日
② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力 ・旭市一般介護予防事業への支援 介護予防サポーター養成講座(初級編) 講師：6月27日 介護予防サポーター養成講座(中級編) 講師：10月8日 あさピー☆きらり体操全体会 講師：11月15日 住民主体の通いの場 立上げ支援 曾根地区：7月25日、11月7日 萬歳地区：2月19日(予定) シンアキ友の会：2月末(予定) 地域ケア個別会議：7月24日、9月25日、11月27日、1月23日、3月25日(予定) ・旭市高齢者支援連絡会議 講師：2月27日(予定) <<旭市介護保険運営協議会及び旭市地域包括支援センター運営協議会>> 10月24日、2月27日(予定) ・匝瑳市一般介護予防事業への支援 匝瑳市百歳体操サポーター養成講座 講師：7月11日

地域ケア個別会議運営に係る相談対応：10月16日、12月24日、2月10日
匝瑳市一般介護予防についての意見交換会：3月3日（予定）

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- ・香取健康福祉センターへの相談支援
リハビリテーション専門職による訪問相談事業：
4月22日、6月20日、7月29日、8月27日、10月21日、11月25日、
12月25日、1月28日、3月（予定）
〈〈神経難病の講演会・情報交換会 講師：2月17日（予定）〉〉
- ・海匠健康福祉センターへの相談支援
〈〈神経難病の講演会・情報交換会 講師：11月1日〉〉
- ・講師派遣：
横芝光町寿大学『腰痛予防』：12月12日
ナザレの家あさひ『利用者の高齢化への対応について』：1月20日

④ 研修等の実施を通じた協働促進

- ・リハビリテーション講演会
『リハビリスタッフが知っておくべきフレイル・サルコペニア』：1月18日
- ・生活期リハ研修会
第1回『在宅医療に携わるコメディカルの役割を知ろう』：9月7日
第2回『退院支援について一緒に考えてみませんか？』：2月15日（予定）

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧い
ずれかを
記入
↓
- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容：「障害者交流会 和希楽会」運営支援

- ・平成31年度和希楽会全体集会：5月26日
会場：旭中央病院体育館
内容：パラ・スポーツ体験、地域の障がい者団体・サークル紹介
- ・和希楽会ニュース発行：第18号（9月）、第19号（3月予定）
- ・マッチング活動
食事会：7月29日、12月7日
サビキ釣り：4月14日、5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、
9月15日、10月20日
公園散歩：5月18日、11月16日
障がい者ゴルフ：11月20日
料理教室：7月28日、11月16日

陶芸教室：3月28日（予定）

（⑥）内容：

《旭中央病院祭りへのブース出展（体力測定・介護予防啓発）：9月21日》

（⑧）内容：

・RUN伴旭 運営協力：11月2日

・各種会議・研修会等への参加

千葉県地域リハビリテーション協議会：3月11日（予定）

地域リハビリテーション広域支援センター担当者連絡会議：5月15日

地域リハビリテーション広域支援センター担当者意見交換会：5月15日、8月1日、10月28日

効果指標検討WG：6月10日（web会議）

第13回地域リハビリテーションフォーラム：12月21日

地域リハビリテーション調整者養成研修：2月28日（予定）

※日時・テーマ・参加人数等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。

※本事業の委託料以外から費用が出ている活動については、事業名と依頼元を《 》

でくくって記載すること。 例. 《〇〇事業（△△市）》

ただし、本事業の委託料と混在している活動を除く。

(別記第5号様式)

平成31年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
圏域	山武長生夷隅 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	九十九里病院
重点活動項目評価	<p>①圏域内17市町村との顔の見えるネットワーク強化 - 地域リハに係る機関等への営業 …前年度と比べ17市町村全担当部署と連携は強化されている 80/100点</p> <p>②アンケート調査やマッピング運用による圏域内リハビリテーション資源の再把握 →医療機関、包括支援センター、集会所等の状況把握と共にどこにどのような分野に 長けているリハ専門職が在籍しているかをアンケート調査により把握する。 →リハ資源の少ない領域への支援体制の構築へ繋げる。 …アンケートは圏域内200名の専門職から回収。マッピング運用は滞っている状 況。次年度、事業運用への活用に努める 50/100点</p> <p>③圏域内各市町村で開催されている地域ケア個別会議への人材支援、相談支援。 …17市町村中7市町村の地域ケア個別会議の支援を実施 70/100点</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会 参集範囲：各市町村の地域リハに係る部署、地域包括支援センター、圏域内ちば地域リハ・パートナー、 山長夷各医師会、山長夷各歯科医師会、県リハ、県の健康づくり支援課 【24名】 開催日時：令和元年10月2日(水) 14:00～16:00 会場：国民宿舎 サンライズ九十九里 大会議室 内容：1) 議題 令和元年度山長夷広域支援センター事業計画及びアンケート報告説明 2) 意見交換会：「災害発生時の地域リハビリテーション広域支援センターの役割について」 座長 千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域リハ推進部 部長 田中康之氏</p> <p>イ その他の会議 【1】ちば地域リハ・パートナー会議 参集範囲：ちば地域リハ・パートナーの指定を受けた医療機関等 [16名] 開催日時：令和元年10月2日(水) 16:10～17:00 会場：国民宿舎 サンライズ九十九里 大会議室 内容：意見交換会「圏域内ちば地域リハパートナー同士の協働事業の可能性」</p> <p>【2】圏域内リハ専門職合同集会 参集範囲：圏域内の機関に在籍するリハ専門職 県地域リハ支援センター 計73名 開催日時：7月5日 会場：山之内病院 内容：①説明：平成30年度事業活動報告令和元年度事業計画説明 ②講演「リハ資源空白領域への広域的な支援体制構築にむけて」 千葉県リハビリテーション支援センター 田中康之氏 ③説明：圏域内の人的なりハビリテーション資源の把握 →アンケート調査の説明</p>

【3】千葉県リハビリテーション支援センター担当者会議→5月15日/8月1日/10月28日

② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

(1) 介護予防事業

- ① ≪山武市≫ 自主運動グループへの講師派遣 1回につき参加者10~25名
→5月1日/7月1日/11月13日
 - ② ≪東金市≫ 「ふれあい教室」…介護予防、コグニサイズ等の講師派遣 (4会場、1回当たり20名)
→5月23日 (15) /6月11日 (10) /6月26日 (9) /9月17日 (9)
 - ③ 九十九里町 コミュニティカフェ「よったいよ」での体力測定
→6月10日 (9) /12月9日 (12) /1月20日 (11)
 - ④ ≪横芝光町≫ 「きらり若返り運動—地区貯金運動」
集いの場立ち上げの支援及び集いの場での運動効果判定・評価結果のフィードバック (3会場)
→6月10日 (9) /6月12日 (24) /6月19日 (20) /7月22日 (8) /7月29日 (19) /8月19日 (14)
11月20日 (15) /12月4日 (16) /12月9日 (6) /12月23日 (4) /1月27日 (9)
 - ⑤ 山武市シニアリーダー研修
→7月17日/7月24日/8月8日/12月2日/12月10日/12月17日/1月31日
 - ⑥ ≪東金市嶺南地区社会福祉協議会≫ 健康フォーラム若返り講座→7月7日 (34)
 - ⑦ 九十九里町 荒生納屋住民への介護予防教室→6月15日
 - ⑧ ≪東金市≫ ロコモ予防講演会→7月13日 (30)
 - ⑨ ≪いすみ市≫ 介護予防ボランティア勉強→7月25日 (20)
 - ⑩ ≪芝山町≫ 介護予防ボランティア勉強→7月26日 (16)
 - ⑪ ≪横芝光町≫ 介護度重度化防止推進員研修→8月6日 (12)
 - ⑫ ≪長南町≫ 出張介護予防教室→9月17日 (14) /9月20日 (13)
 - ⑬ ≪茂原市保健センター≫ 健幸フライデー→9月27日 (45)
 - ⑭ 長柄町 出張介護予防教室→9月27日 (14)
 - ⑮ ≪茂原市社会福祉協議会≫ 健康体操教室→10月23日 (35)
 - ⑯ 白子町 ボランティア向け介護予防教室→10月29日 (26)
 - ⑰ 勝浦市 勝浦鶴亀学校…コグニサイズ講師→11月22日 (56)
 - ⑱ 九十九里町 豊海地区社協「お楽しみ会」…体操講師→12月19日 (50)
 - ⑲ ≪千葉県高齢者福祉課：令和元年度介護予防市町村支援事業≫
7月3日/7月22日：第1回地域ケア会議に係る市町村研修会
9月10日/12月3日/12月12日：第2回地域ケア会議に係る市町村研修会
12月9日/1月30日：介護予防のための地域ケア会議に係るアドバイザー派遣 (白子町・長生村・一宮町)
- (2) 地域ケア個別会議
- ① 茂原市→毎月第3火曜日に開催
リハ専門職の助言者は主に市内のリハ専門職に茂原市が依頼済、傍聴にて参加
→4月16日/5月21日/6月18日/8月20日/12月17日
 - ② ≪横芝光町≫：毎月第3金曜日に開催。当院からPT・OTの助言者を毎月派遣
→4月19日/5月17日/6月21日/7月19日/8月16日/9月20日/10月18日
/11月15日/12月20日/1月17日

③山武市地域ケア個別会議：OT の助言者を派遣
→8月22日/10月17日/12月19日

④いすみ市地域ケア個別会議…アドバイザーとして出席
→7月24日/8月22日/10月17日/12月19日

(3) その他の支援

5月27日 御宿町公開講座「ロコモを知って、健康寿命を延ばそう」

5月28日 山武市独自の体操作成検討会議

5月31日 茂原市介護予防に係わる意見交換会

6月4日 令和元年度山武圏域連絡調整会議

…「さんむがつながるネットワーク実行委員」ファシリテーター役で参加（後述）

7月26日 九十九里町生活支援体制整備事業検討会

11月2日 芝山町横芝光町共催「RUN 伴」

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

①御宿町「つくしくらぶ」（母子保健事業）へのST派遣支援

視察：4月25日 検討会議：8月5日

②さんむがつながるネットワーク

→山武中核地域生活支援センター「さんネット」を中心とした医療、介護、障害、法律等の機関の有志が集まるネットワーク実行委員として参加。

会議：5月17日/7月10日

研修：さんむがつながるネットワーク交流会→11月13日

山武圏域福祉関係機関等研修会

「障害者福祉から介護保険サービスへの移行について」→11月25日

③JA 山武郡市ホームヘルパー腰痛予防教室→12月20日 対象：ホームヘルパー50名

④《長生郡市介護サービス事業者協議会》研修会

日時：令和2年1月23日 会場：茂原市役所502会議室

内容：講演「リハビリテーション活用術」～「したい生活」の実現にむけて～

→ケアプランを通じてグループワークを行い、リハビリテーションの視点の理解を深めてもらうと共にリハビリテーション専門職との連携強化を図る。

④ 研修等の実施を通じた協働促進

①《市町村身体障害者福祉会》指導者研修会

6月28日：東葛南部圏域で開催された当研修会の視察

7月9日：当圏域にて開催…対象者：地域住民、行政、身体障害者福祉会 112名

②千葉県地域リハビリテーションフォーラム

12月21日：シンポジスト及びポスター発表にて広域支援センターの活動報告

③《千葉県理学療法士作業療法士言語聴覚士連携推進会議》

第4回「千葉県介護予防の推進に資する専門職研修」

1月13日：地域ケア会議の助言者養成、アドバイザーとして参加

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧い
ずれかを
記入
↓

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容：行政関係機関、地域包括支援センター等への挨拶廻り

山長夷医療圏の17市町村の高齢者福祉課や地域包括支援センター、社会福祉協議会等には直接アンケートを持参し、「顔の見える連携づくり」に努めていく。前年度同様、当院が広域支援センターの指定を受けている間は毎年実施。

→全47機関 期間：5月7日～6月6日

(⑦) 内容：小中学校出前講座

6月25日 横芝光町立白浜小学校 7月3日 御宿町立御宿小学校 ※
9月26日 横芝光町立横芝小学校 10月9日 山武市立成東小学校
10月29日 横芝光町立東陽小学校 11月13日 横芝光町立光中学校
11月18日 山武市立成東中学校

※御宿小学校は県への応募、それ以外は主に管轄の社協からの依頼

(⑧) 内容：他圏域等への研修参加、他団体主催の研修参加

【再掲】6月28日 市町村身体障害者福祉会≫指導者研修会

7月13日 全国地域リハビリテーション合同研修大会 兵庫

10月11日 全国ケアリホーム大会

1月21日 令和元年度認知症予防講演会（ちばコグニサイズ普及事業）

1月29日 小児慢性特定疾病等自立支援事業 医療的ケア児の地域支援（山武健康福祉センター）

(⑧) 内容：福祉体験会

横芝光町→地域住民（学生）を対象とした福祉の仕事についての体験会

(⑧) 内容：災害関連

9月12日～：台風15号被災状況確認（電話又は訪問）

対象：（電話）17市町村連携部署（包括支援センター等）、圏域内ちば地域リハパートナー（訪問）電話連絡不可となったちば地域リハパートナー4機関、

9月13日：山武市独居高齢者安否確認同行訪問

9月21日～9月24日：千葉県JRAT災害リハ支援活動への職員派遣（安房保健所）

10月14日～21日：台風19号における安否確認（メール・電話）

対象 7市町村連携部署（包括支援センター等）、圏域内ちば地域リハパートナー

10月26日～31日：千葉県豪雨被害状況確認（メール・電話）

対象 7市町村連携部署（包括支援センター等）、圏域内ちば地域リハパートナー

令和2年1月11日～12日：REHUGファシリテーター養成研修

→災害時のリハビリテーション本部運営訓練を実施

(⑧) 内容：広報・啓発活動（ホームページ作成・更新）

→ホームページを見た医療・介護関係の方以外でもわかり易いように実施した地域リハ関連事業をブログ形式で開催後1週間以内に掲載。

(⑧) 内容：院内対策会議

隔週金曜日に院内の地域リハ広域支援センター担当職員12名で事業報告、事業内容検討の会議実施

- ※日時・テーマ・参加人数等事業内容を具体的に記載すること。
- ※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。
- ※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。
- ※本事業の委託料以外から費用が出ている活動については、事業名と依頼元を《 》
でくくって記載すること。 例.《〇〇事業（△△市）》
ただし、本事業の委託料と混在している活動を除く。

平成31年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
圏域	安房 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	亀田総合病院
重点活動 項目評価	<ul style="list-style-type: none"> ●広域支援センターの運営 <ul style="list-style-type: none"> ①セラピストを中心に多くの専門職が広域支援センターの活動に参加 ②広域支援センターの活動範囲の拡大と様々な機関との関係づくりの模索 ●広域支援センターの活動 <ul style="list-style-type: none"> ③パラ・スポーツを活用した地域づくり ④障害者の主体的を引き出す資源開発

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p><u>ア 連絡協議会</u></p> <p>目的) 広域の活動の理解促進、協力依頼。広域支援センターへのニーズ収集。 参加対象) 市町村職員、地域の専門職、セラピスト等 内容) 広域支援センターの活動報告、活動計画 2020年3月8日⇒※書面開催により実施</p> <p><u>イ その他の会議</u></p> <p>1) 地域リハ・パートナー会議</p> <p>目的) 広域支援センターからの情報提供、パートナーからのニーズ把握 参加対象) 地域リハ・パートナー、広域支援センター職員 開催日程) 地域リハ・パートナーと相談して開催を検討 2020年3月8日⇒※書面開催により実施</p>
<p>②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <p>②- I) 介護予防活動への支援</p> <p>目標) 介護予防活動へのセラピスト活用促進。多くのセラピストが参加してもらう 計画) 協力依頼市町村との調整。協力セラピストを募集する仕組み作り</p> <p>⇒鴨川市社会福祉協議会との協力) サロンでのポッチャ体験 計7か所。 ※パートナーや他の事業所の職員参加を募集したが、参加希望なし。広域が担当。 2019年 4月 8日 20名 (内浦海辺のサロン) 2019年 4月17日 25名 (田原ふれあいサロン)</p>

2019年 6月 2日 15名 (ラブの会)
 2019年 6月 3日 10名 (汐の香サロン)
 2019年 6月16日 20名 (四方木ふれあいサロン)
 2019年 6月21日 15名 (細野枝郷お茶飲み会)
 2019年 7月11日 15名 (パタカラの会)

②-Ⅱ) 地域包括ケアに関わる市町村職員等の関係構築

目 標) 市町村等からの広域支援センターへの相談・依頼件数の増加
 計 画) 市町村の担当者に対して広域支援センターの事業範囲を説明、相談促進
 ⇒市町村、教育委員会、社会福祉協議会の職員対象としたポッチャ体験会 2市町村実施
 2019年 6月 4日 20名 (南房総市)
 2019年 8月23日 30名 (館山市)
 ⇒南房総市教育委員会のイベントに呼ばれてのポッチャ体験 1か所
 2019年11月17日 40名 (南房総市軽スポーツ大会のポッチャ体験)
 ⇒地区社協のつどい、ボランティア協議会でのポッチャ体験+講義 3か所
 2019年 6月25日 50名 (小湊地区地域福祉フォーラム)《小湊地区地域福祉フォーラム》
 2019年12月16日 60名 (鴨川市ボランティア連絡協議会)《鴨川市ボランティア協議会》
 2020年 2月 7日 35名 (南房総市 地区社協 研修会)《南房総市地区社協》
 ⇒市町村身体障害者福祉会指導者研修会の講師 生活を豊かにする福祉用具 1か所
 2019年 8月 1日 80名《市町村身体障害者福祉会》

②-Ⅲ) 地域づくりのイベントへの協力

目 標) 市町村等が開催するイベントへの協力。多くのセラピストが参加。
 計 画) イベントの主旨等を踏まえ企画。運営のためセラピストを募集し、参加促進
 ⇒地域のイベントへのブース出展 2つのイベントへブース出展 (1つのイベントは台風のため中止)
 2019年 7月15日 田原ふるさとフェスティバル
 2019年11月16日 たてやま介護フェスタ
 ⇒女子サッカーの試合会場での“障害者DAY” 障害者リレー+啓発ブース出展
 2019年 9月 1日 オルカ鴨川 障害者DAY
 ※パートナーを中心にスタッフ募集をしたが参加希望なし。広域で担当。

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

③-Ⅰ) 出張講習会 (希望機関に出向いての講習会開催)

目 標) 開催数の増加。講師・スタッフとして広域以外のセラピストを活用
 計 画) 開催が決まった時点で、協力スタッフを募集
 募 集) 第1回募集を5月に実施。第2回募集を9月に実施。
 ⇒出張講習会 要望に合わせて5回開催 (今年度は1回のみ募集。)
 (拘縮・他動運動2回、摂食嚥下1回、認知症予防運動1回、自動車・移乗1回)
 ※広域以外のスタッフを活用する事ができず。

摂食嚥下	2019年 8月 9日	25名 (しあわせの里)
拘縮・他動運動	2019年 11月 26日	40名 (亀田ホームケアサービス鴨川)
拘縮・他動運動	2019年 2月 5日	8名 (ジョイライフ鯛の浦)
自動車・移乗	2019年 11月 25日	10名 (亀田総合病院)
認知症予防運動	2019年 12月 9日	15名 (東栄ホームヘルプサービス)

③-Ⅱ) 広域支援センターの案内パンフレット作製

目 標) パンフレットが完成し、広報活動に利用。
 計 画) 活動内容を整理し、パンフレットを作成。
 市町村、社協、教育、企業等への説明に利用。当事業の活用促進。
 日 程) 2019年6月には運用開始。
 ⇒講義資料として活用。配布等には至らず。

④研修等の実施を通じた協働促進

④-Ⅰ) 福祉用具の体験会を開催 (1回)

2019年7月24日 会場：亀田リハビリテーション病院 機器紹介：アビリティーズケアネット

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧
いずれか
を記入
- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑦) 内容：

⑦-Ⅰ) 広域支援センターの案内パンフレット作製 (再掲)

目 標) パンフレットが完成し、広報活動に利用。

計 画) 活動内容を整理し、パンフレットを作成。

市町村、社協、教育、企業等への説明に利用。当事業の活用促進。

⇒講義資料として活用。配布等には至らず。

⑦-Ⅱ) 教育分野への支援

1) リハビリテーション体験学習 (出前講座)

目 標) 障害者の体験と講義を通じて、障害者観を育成

計 画) 市町村や教育委員会等に出向いての利用促進

⇒要望がなく、未実施。

2) オリパラ教育への協力

目 標) パラリンピックの競技やパラアスリートの姿から学ぶ機会を提供

計 画) 依頼された学校にて、パラリンピックの競技体験と講義を提供

⇒中学2年生対象の**パラ・スポーツ体験学習会+障害者に関わり方等の講義 (1か所)**

2019年11月22日 館山市立館山第二中学校 二年生95名《館山市》

⑦-Ⅲ) 地域資源の拡大

1) パラ・スポーツの体験、普及促進

目 標) パラ・スポーツ体験する機会を増やす。地域に根付く事を促進。

計 画) 体験会の企画、機器の貸し出し、大会の企画運営

⇒**パラ・スポーツに関して、様々な形での体験・研修を15か所実施**

⇒**鴨川市社会福祉協議会との協力) サロンでのボッチャ体験 計7か所。**

再掲) 4月 8日 20名 (内浦海辺のサロン) 再掲) ②4月17日 25名 (田原ふれあいサロン)

再掲) 6月 2日 15名 (ラブの会) 再掲) ④6月 3日 10名 (汐の香サロン)

再掲) ⑤6月16日 20名 (四方木ふれあいサロン) 再掲) ⑥6月21日 15名 (細野枝郷お茶飲み会)

再掲) ⑦2019年 7月11日 15名 (パタカラの会)

⇒**市町村、教育委員会、社会福祉協議会の職員対象としたボッチャ体験会 2市町村実施**

再掲) ⑧2019年 6月 4日 20名 (南房総市) 再掲) ⑨2019年 8月23日 30名 (館山市)

⇒**南房総市教育委員会のイベントに呼ばれてのボッチャ体験 1か所**

再掲) ⑩2019年11月17日 40名 (南房総市軽スポーツ大会のボッチャ体験)

⇒**地区社協のつどい、ボランティア協議会でのボッチャ体験+講義 3か所**

再掲) ⑪2019年 6月25日 50名 (小湊地区地域福祉フォーラム)《小湊地区地域福祉フォーラム》

再掲) ⑫2019年12月16日 60名 (鴨川市ボランティア連絡協議会)《鴨川市ボランティア協議会》

再掲) ⑬2020年 2月 7日 35名 (南房総市 地区社協 研修会)《南房総市地区社協》

⇒**市町村身体障害者福祉会指導者研修会の講師 福祉用具 1か所**

再掲) ⑭2019年 8月 1日 80名《市町村身体障害者福祉会》

⇒**中学2年生対象のパラ・スポーツ体験学習会+障害者に関わり方等の講義 (1か所)**

再掲) ⑮2019年11月22日 館山市立館山第二中学校 二年生 95名《館山市》

(⑧) 内容 :

⑧-1) 広域支援センター内の提供内容の強化

目 標) 広域支援センターが提供できる内容の充実。

計 画) センター職員を研修に派遣し、出張講習会等の活動に反映させる。

⇒ポッチャクラス分け委員の取得へ派遣 1名。

⇒ポッチャ研修会へ派遣 2名

⇒ユニバーサルマナー研修へ派遣 2名

⇒災害リハ研修へ派遣 1名

⇒摂食嚥下研修へ派遣 1名

⑧-2) 広域支援センターが関わる領域の拡大 (再掲)

目 標) 地域の様々な業種の方々に広域支援センターを活用してもらう

計 画) パンフレット利用しての説明、リハケア文化祭での発表依頼などの接点作り

⇒講義資料として活用。配布等には至らず。

⑧-3) 災害リハに理解促進

目 標) 災害に関する知識を深め、整理をしながら、災害リハについて模索

計 画) 研修会等にて知識の整理を行い、理解促進のコンテンツ作りを図る

⇒2019年 9月22日 災害リハ研修 企画 (台風により中止)

⇒2020年 1月30日 35名 災害時・支援者の心のありようを学ぼう

※日時・テーマ・参加人数等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。

※本事業の委託料以外から費用が出ている活動については、事業名と依頼元を« »

でくって記載すること。例.«○○事業(△△市)»

ただし、本事業の委託料と混在している活動を除く。

(別記第5号様式)

平成31年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
圏域	君津	地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	君津中央病院	
重点活動 項目評価	公開フォーラム	

<p>1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業</p> <p>①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会 (5/13) (12/17) 年2回開催 (参集範囲：4市・君津健康福祉センター・歯科医師会・介護福祉士会・介護支援専門員協議会・薬剤師会・栄養士会・POS連・老人福祉施設連絡協議会・訪問看護ステーション連絡協議会・医療社会事業協会・4市社会福祉協議会)</p> <p>イ その他の会議</p> <ul style="list-style-type: none">・地域リハ・パートナー会議（年2回連絡協議会後開催） 第1回（5/13）：5施設、第2回（12/17）：4施設・市民公開フォーラムのワーキンググループ会議（8/26 参加者12名）
<p>②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <ul style="list-style-type: none">・地域ケア会議及び説明会（2名、5回）、・発達相談（24回）自立支援協議会（6回）自立支援協議会こども部会（6回）自立支援就労生活支援部会（4回）
<p>③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none">・施設向け出張研修 5/11：嚥下障害とその対応（参加者：24名、サロン・ド・タビダチ） 6/15 シーティング、施設プログラムの相談支援（参加者：25名、サロン・ド・タビダチ） 12/26：リハビリテーションの紹介（参加者：40名、サロン・ド・タビダチ）・ケアマネ研修会への講師派遣（2回）
<p>④研修等の実施を通じた協働促進</p> <ul style="list-style-type: none">・地域リハ・パートナー研修会（再掲）5/13：5施設、12/17：4施設

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧
いずれか
を記入し
- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容： : ブロックの会、小児連携の会（コアラの会）共同研修会
・福祉事業所連絡協議会ブロックの会と共同開催で研修会を企画する会議を開催

(⑥) 内容： : 公開フォーラム (9/29)
・医師の講演・住民の健康増進活動発表・医療福祉専門職の相談・体験コーナー
・「働き世代から考える健康作り」（医師の講演）：参加者 140 名

(⑦) 内容： : 小児連携の会（コアラの会） (8-9 月) (意見交換会 10-11 月)
・医療的ケア児に対する体のケアや姿勢保持の視点を含めた講演会を開催（ポジショニング講演会
開催 9/8、参加者 24 名、サロン・ド・タビダチ）
・児童発達支援センター愛児園への職員派遣（週 2 回）
・君津特別支援学校への職員派遣（年 6 回）
・まなび支援センター教育相談（年 6 回）
・障害福祉、小児関連事業所意見交換会（10/18 参加者 19 名）
・ペアレントトレーニング

(⑧) 内容： : 地域防災訓練
・富津市土砂災害避難訓練（6/2）

(⑧) 内容： : 出前講座
・圏域内の小中学校に地域リハビリテーションやリハビリテーションの仕事について体験型の講座
を行う（10/25、県 1 名、リハ・パートナー 3 名、広域 7 名）、（1/29、リハ・パートナー 2 名、
広域 6 名）

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。

※本事業の委託料以外から費用が出ている活動については、事業名と依頼元を《 》でくくって
記載すること。 例.《〇〇事業（△△市）》

ただし、本事業の委託料と混在している活動を除く。

(別記第5号様式)

平成31年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
圏域	市原 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	白金整形外科病院
重点活動 項目評価	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル事業の取り組み ⇒計画通り実施 ・資源の少ない分野（小児・障害・災害）への支援体制づくり ⇒小児分野について君津圏域の協力を得ながら療育支援の体制を模索中 災害についてちーき会にて実際の被災状況等について情報交換 ・既存事業の継続 ⇒いちはら筋金近トレ体操は例年通り実施。来期より予算が付く予定 ちーき会は悪天候による初の中止があったが、参加者は前年を超え 延べ通算で3000名を突破。 市原市民大学は来期も継続

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会 3月6日予定⇒※後日開催（場合によっては書面開催） 参集範囲：圏域内の市役所、保健所、地域包括支援センター、職能団体、病院、介護老人 保健施設ほか 内容：広域支援センターの活動報告と市内の連携状況について</p> <p>イ その他の会議</p> <p>1) 地域リハ・パートナー会議（8/2）今年度の協働事業について検討 新規開設施設の見学要望⇒1月ちーき会にて実現 施設横断型症例発表第2弾の検討⇒3月ちーき会にて実現</p> <p>(2) ちーき会（年12回）※地域リハビリ関連機関との自由討論、情報共有等</p> <p>第1回 平成最後の市原の地域リハビリテーションについて考える（4/19）36名参加 第2回 新包括リレー紹介（5/24）54名参加 第3回 8050問題について考える（6/21）49名参加 第4回 住宅改修による在宅介護の課題解決（7/26）37名参加 第5回 在宅糖尿病患者の為の食事と運動（8/26）54名参加 第6回 またやってみよう！地域分析（9/27）45名参加 第7回 フレイル予防への取組（10/25）※悪天候のため中止</p>

- 第8回 自宅でできる！パーキンソン病に有効なリハビリテーション（11/19）56名参加
- 第9回 体験しよう！パラスポーツ（12/16）30名参加
- 第10回 メディケア51に行ってみよう！（1/27）55名参加
- 第11回 地域包括ケアにおける感染管理について考えよう！（2/12）
- 第12回 症例リレー紹介（3/27）

② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

- ・※市原市民大学への講師派遣（6/28, 7/5、10/18）
- ・市原市いいあんばい体操への支援
- ・市原筋金近トレ体操の講師派遣（4/16, 4/22, 4/25, 5/8、5/14, 5/15, 5/16, 5/17, 5/21, 5/27, 5/28, 5/31, 6/3, 6/11, 6/14, 6/15, 6/20, 7/1, 7/2, 7/4, 7/9, 7/16, 7/17, 7/18, 7/23, 7/28, 8/26, 9/3, 9/6, 9/25, 10/3, 10/9, 10/14, 10/21, 10/23, 10/24, 10/29, 11/1, 11/14, 12/5, 12/12, 12/19, 1/17, 1/20, 1/22, 1/24, 2/4, 2/10, 2/17, 3/16）
- ・※高齢者体操普及員修了者研修会（4/24）
- ・保健センターへの協力
フレイルチェック講座（5/23, 6/13, 7/23, 8/22, 9/24, 10/10, 11/14, 12/19, 1/14, 2/20, 3/4）
フレイルチェック講座練習会（4/18, 5/14, 5/23, 7/23, 10/3）
フレイルサポータースキルアップ研修 10/17
フレイルサポーター養成講座（2/6, 2/13）
いちほら健幸まちづくりプラン おとな元気ワークショップ 9/4, 1/22
- ・小児・災害担当課との連携づくり
市原市発達支援センター見学、意見交換（5/28, 9/30）

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- ・在宅リハネット・メールフォーム等を活用したリハ相談事業
今期実績なし
- ・地域包括支援センターへの支援
→市内全地域包括支援センターへの挨拶回り（4/17）
→主催研修会への講師派遣
お元気体操 春（4/26） 地域包括支援センターふるさと 約30名参加
在宅介護教室講師派遣（7/15） 地域包括支援センターこくぶんじ台 23名参加
在宅介護教室講師派遣（9/15） 地域包括支援センターひまわり 40名参加
お元気体操 秋（4/26） 地域包括支援センターふるさと 約30名参加
→ちーき会を活用した新規包括支援センターとの協力体制の構築
5/24 新包括紹介
→地域ケア会議への参加
地域包括支援センター ごい（1/23）
地域包括支援センター たつみ（9/25、1/20、2/13）
地域包括支援センター ふるさと（1/9, 1/20, 1/23, 2/10）
地域包括支援センター こくぶんじ台（2/1）
地域包括支援センター たいよう（2/20, 2/25、2/27）
地域包括支援センター しおみ（2/3, 2/5）
地域包括支援センター 市津・ちはら台（2/2、2/7）
- ・市原市役所との打合せ（適宜）
2/6 いちほら筋金近トレ体操打ち合わせ

- ・市原保健所との協働
ちーき会での研修共同開催
（再掲）第5回 在宅糖尿病患者の為の食事と運動（8/26）54名参加
（再掲）自宅でできる！パーキンソン病に有効なリハビリテーション（11/19）56名参加
- ・市原市在宅医療介護連携推進会議への協力（5/13, 8/19, 8/26, 1/15, 1/23）
- ・その他リハ資源の無い事業所への支援
令和元年度第3回市原圏域障害者グループホーム等世話人研修会（いちほら福祉ネット）
講師派遣 参加26名

④ 研修等の実施を通じた協働促進

- ・各種イベントへの出展による市内関連機関との協働
 - ・市原認知症対策連絡協議会との協働
認知症あんしんフェア（4/21）
定例会、総会（5/14, 7/25, 10/24, 1/23）
 - ・第3回いちほら福祉のつどい（11/17）体組織・歩行年齢測定 お口の健康チェック
 - ・RUN 伴千葉2019（いちほらエリア）（11/2）
 - ・いちほら健幸フェスタ（10/20）

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧い
ずれかを
記入 ↓
- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

（ ⑤ ） 内容：（再掲）ちーき会の実施による地域課題の抽出と課題解決に向けた事業提案
第1回 平成最後の市原の地域リハビリテーションについて考える（4/19）36名参加
第3回 8050問題について考える（6/21）49名参加
第6回 またやってみよう！地域分析（9/27）45名参加

（ ⑥ ） 内容：内容：（再掲）フレイル予防事業
フレイルチェック講座（5/23, 6/13, 7/23, 8/22, 9/24, 10/10, 11/14, 12/19, 1/14, 2/20, 3/4）
フレイルチェック講座練習会（4/18, 5/14, 5/23, 7/23, 10/3）
フレイルサポータースキルアップ研修 10/17
フレイルサポーター養成講座（2/6, 2/13）

（ ⑥ ） 内容：内容：地域住民に対する健康講話・講習会
・腰痛に関して 6/5 誉田グリーンヒル町会 60名参加
・口腔・嚥下についての講話 10/23 誉田グリーンヒル町会
・リハビリスタッフによる知って得する介護の知識 11/7 光風台公民館 43名参加

(⑦) 内容：障害、小児、災害分野へのアプローチ

→小児領域へのアプローチ

市原市民ネット、地域リハ・パートナーなどの協力による小児領域意見交換会の実施
(8/5, 9/3, 1/10)

(再掲) 市原市発達支援センター見学、意見交換 5/28

市原市の療育を考える会 (参加) 7/29

→災害領域へのアプローチ

(再掲) 第6回 またやってみよう！地域分析 (9/27 45名参加) にて台風15号
振り返り (病院、老健の被災状況報告、資源MAP、被災状況を地図にて可視化し、
個々の被害状況の確認や対策について情報交換)

市内被害状況パトロール (9/15 施設訪問など)

・千葉防災フェスタ参加 9/1

・REHAG研修参加 1/11、1/12

(⑧) 内容：内容：その他取り組み

・広報活動 (ホームページの更新、市内イベント等での事業説明など)

・千葉県理学療法士会市原ブロック会議での活動周知 (5/16, 9/19, 12/19)

・地域リハビリテーションフォーラム (12/21) ポスター発表

・情報収集 (地域リハに係る情報の収集)

・OTS勉強会 7/29, 1/21

・市民公開講座 腰痛について 5/17 千葉労災病院

・第1回地域ケア会議に係る市町村研修会 7/3, 7/22

・利用者の快適さに寄り添うポジショニングフェルデンクライス・メゾットの
視点から 9/8

・小児連携の会 (コアラの会) 10/18

・REHUG研修 1/11, 1/12

・千葉県介護予防の推進に資する専門職育成研修 1/13

・コグニサイズ研修 1/21

・地域分析研修会 2/28

・啓発活動 (小学校への知育活動支援) 本年度依頼なし

※日時・テーマ・参加人数等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。

※本事業の委託料以外から費用が出ている活動については、事業名と依頼元を《 》

でくくって記載すること。 例. 《〇〇事業（△△市）》

ただし、本事業の委託料と混在している活動を除く。